

## 酷寒零下30度雪積50糎に於て露營5日間 と無住地帯 120 軒の踏査に就て

Y . W 生

時は康徳6年12月中旬であつた。通化、吉林、間島、三省一體となつて治安肅正工作の根本的對策綠林地帯道路網の整備と三省を完全に結ぶ道路網の確立は、獨り匪賊の殲滅のみに止らず併せて地方産業の開發計畫と東亞新秩序の建設に資せんとする空前の大計畫は樹立し、越へて康徳7年1月中旬の國務院大審議會を終へて1月下旬は早くも三省治安肅正工作開拓道路の豫算は決定し夫々關係各廳は之の實施計畫に邁進するのは全く超「スピード」と云ふ可きであらう。

然して治安肅正道路網は通化省管内は主として撫松縣、濛江縣の兩縣に涉り、然も凡ゆる點に於て最悪の條件を具備し且つ東北抗日軍揚司令、金日成其他共命下にある李參謀、丁參謀等蟠居し匪情の最も悪い道路網の確立なのである。然して三省合體總豫算5,000,000圓の内通化省管内豫算710,000餘圓總延長260餘軒の新設道路は如何にして建設す可きや當局者の苦心と決意は如實に此大建設事業に反映する譯である。

1月下旬5班に分れて之の踏査、續いて實測調査にと各員は張り切つて征服の途に就いた。其内最も匪情の悪い然も無住綠林地帯150軒の内撫松安圖線の撫松縣北崗より間島省安圖縣境頭道白河迄の60軒の踏査の大役を自ら買つたのである。此撫松、安圖に跨る大樹海地帯（主として紅松、とまばらの白樺櫛の類）は匪賊の

溫床地帯として治安確立に一大支障を來す源泉と云ふ可く此大樹海縱斷の道路建設である。然し一度び此千古不斧の大森林へ入るや全く見透す事能はず其方向も判明せず未だ完全なる測量に成功し得た者なく軍政部發行の100,000分の地圖ですら、白地帯となつて居る状態なのである。

道中に於て匪賊の山寨等は申す迄もなく猪の群「ノロ」の群も無數に見た。又猛獸虎熊の足跡も數限りなく見た最も凄慘を感じたのは猛虎と猪の争鬪に於て一敗血にまみれた。憐れ猪の殘骸を目前に見てかゝる原始的森林地帯に於ても彼ら動物に於ても又生きんが爲には絶えず強者の驚異あるを感ずるは何とも悲痛の感があつた。

斯くの如き人跡末踏の大樹海の開發道路の建設こそ吾等が使命決死的努力と健闘と新時代の道路技術に依り之の征服こそ全く男性的な重大任務ではあるまいか。

同行者は撫松のT副縣長と省S・H・技士保持者と筆者と三人であつた。此S・H・技士は國道局時代より匪襲に逢う事23回のレコード保持者強物にてT副縣長は土木副縣長と云ふ位で本路線建設に際し3,500人の人夫を3ヶ月間出役させると吾々にとつて何と心強い限りではないか、安圖縣境問題で。こんな時でないかと縣境に行け

ないからと一行に加つた。

豫め吉林經由安圖に人を派し種々情報を探り連絡を密にした。一行3人各々1人づつの滿人從卒と警備70名豫定5日間の食料運搬の脊荷を計110餘名の一團である。

撫松北崗より目的省境接続迄3日間、省境より安圖兩江口迄2日間計5日間の露營であつた。

筆者嘗て10餘年前今は國立公園と稱さるゝ阿賀野川、利根川の水源、尾瀬沼、尾瀬原の山岳測量をした村を隔れる事50餘軒、2000米の高原で60日入浴が出来ず15日間天幕、握り飯、の生活の経験があつた。それは最も好季節の6月より9月迄であつた。

今度は酷寒30度と云へば萬物皆氷ると云う1月31日より2月5日迄の間なのである。生憎く綿製「テント」は縣外搬出禁止令の爲め之の認可申請手續中にて踏査には間に合はず眞の露營然も匪團の最も暴逆なる、金日成、の勢範圍だ之等凡ゆる點に耐ゆるには果して、どんな仕度と用意が必要か。

服裝（晝間踏査の時）

シャツ2枚　ズボン下2枚　上衣支那服縮入  
ズボン同　上靴下2足　防寒ズック編上靴

（日没後夜間）

シャツ、ズボン同じ協和服其上に支那服着用  
以下同じ

支那服は萬一匪襲に逢遇したる時非戦闘員は「ペーリアンニヤ」の中に紛れ込み逃走の準備に

携帶品

毛布2枚、地圖、磁石、雜品は並通キャン  
フ道具一式

藥品、目藥、腹藥、クレオソート、凍傷膏

繃帶、メンソレータム白金カイロ、特に糖分が欠亡すれば實に元氣消沈する故砂糖類は放す可からず。

康德7年1月30日より2月5日迄或は夜明ヶ前は零下35度以下に降つた事と思ふ、然し勿論前に炊火があれば雪上に直接毛布を一枚敷き綿入支那服相當厚きもの着用なれば寒さに對しては先づ耐ゆる事と信ずる。茲に於て最も注意したい事を、二、三擧げ度い。

1. 踏査には日数を充分取ること。積雪と密林の爲歩行等は相當困難である20軒の豫定は平均10軒乃至15軒位であつた。

1. 匪賊地帯の踏査等に於ては航空隊と連絡を取る事、それは丁度踏査中揚子頂子附近に於て1台の匪賊爆撃機が來た、踏査隊を匪賊と間違へられ一發「ボカン」と來てはたまらん早速日章旗と云ふても持合せがない、人文字以外に對策はない勿論警備隊本部より航空隊に連絡を取つたと後で聞きたるも踏査隊も直接連絡を取り且つ又日章旗も亦必要である。逃げることは返て悪い。

1. 人夫、警士の中に餘名の凍傷患者が発生した。故に凍傷に對する外科的治療亦相當研究體得の必要も欠くことは出來ぬ。

1. 一露營に於ては絶對的に飲酒は禁物、醉寝めの時に於て凍傷にかゝる事あり。

最後に今回の踏査に於て見逃す可からざるは吾々の警備の任にあつた撫松森林警察隊、岳警佐の統制振りと勇敢さと最終日夜11時半迄の強行軍の際各警察官の忍耐の強さ吾々を守護する彼等の心情其責任感の強い事全く賞讃すると共に敬意と感謝の意を表する次第であつた。

(7、2、20記)